

令和5年度事務事業評価（令和4年度事後評価）

出納室

所属名	事務事業名	ページ番号
出納室	出納事務	2
出納室	支払帳票等審査事務	3

令和5年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	出納事務	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	出納室 出納係	担当課長名	森 留美子
総合計画における位置づけ	政策	効果的・効率的で信頼される行政経営が行われているまち	
	施策	34財政の健全性の確保	
	基本事業	健全な財政運営	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・納付された市民税や固定資産税などの税金をはじめ、各種手数料などの公金を適切に管理する。</li> <li>・法令や予算に照らして適切と判断されたものについて支出する。</li> <li>・決算書を調製し、市長に提出する。</li> </ul>				
事業の対象者	・納入義務者・出納員及び会計職員・債権者				
根拠法令等	地方自治法、地方自治法施行令、佐賀市財務規則				
<b>決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	17,076	16,844	23,744		
うち佐賀市の負担額	17,076	16,844	22,204		

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
収納件数					件
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
1,071,832	1,085,961	1,091,258			

活動実績②					単位
支出件数					件
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
83,522	85,285	86,898			

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

・収納件数、支出件数ともに増加しているが、収納については、後期高齢者医療会計収納分が増加したことが要因であり、キャッシュレス決済等の普及に伴い、金融機関窓口での納付書による収納件数は減少している。

令和5年度 事務事業実績報告シート

<b>事務事業名</b>	支払帳票等審査事務	<b>事業期間</b>	昭和 40 ~ 年度
<b>担当部署・係名</b>	出納室 審査係	<b>担当課長名</b>	森 留美子
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	効果的・効率的で信頼される行政経営が行われているまち	
	<b>施策</b>	34財政の健全性の確保	
	<b>基本事業</b>	健全な財政運営	

1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	・各課から提出された支払帳票等を審査し、適正な事務処理が行われているか確認を行い、会計事務の適正執行を確保する事を目的とする。				
<b>事業の対象者</b>	・債権者 ・予算の執行その他財務に関する事務を処理する職員				
<b>根拠法令等</b>	地方自治法、地方自治法施行令、佐賀市財務規則				
<b>決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業費総額</b>	211	211	208		
うち佐賀市の負担額	211	211	208		

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
伝票の審査件数					件
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
83,522	85,285	86,898			

活動実績②					単位
不適正伝票の差し戻し件数					件
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
5,260	6,990	6,971			

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝票数は年々増加しており、不適正伝票の差し戻し件数も横ばいとなっていることから、適正な公金支出のために予算執行課へ一層の指導を行う。</li> <li>・支出伝票等の財務の事務を行う新任担当者を対象とした研修会や出納事務の手引き等の活用を通して、職員の基本的知識の向上を図ることで、不適正な会計事務処理の減少を目指す。</li> </ul>
--